

草原再生における現状と課題：研究者と市民の視点から

津田智・増井太樹(岐阜大学流域圏科学研究所)

半自然草原
管理
生物

昔

国土の1割以上を占めた
生業として草刈りや野焼き
がおこなわれていた
草原生生物が豊富で多様

今

国土の1%に満たない
草資源が必要なくなって管
理放棄が進んだ
草原生生物が絶滅危惧種

昔の原っぱの景観を再生しよう

さて、どうしたらよいのか？

各地の団体が持っている情報を提供しあえれば、
今後の保全活動に生かせるかも知れない

他者と比べることで

「成功例を真似てみよう」、「あの方法はダメだ」、「あそこよりはマシだ」などの考えが湧く？ かも

昔の管理法(昔の生活)にはもどれない

自由集会 W08

草原再生における現状と課題：研究者と市民の視点から

本日の話題提供

- | | |
|----------------|---------------------|
| 1) 寒風山(秋田県) | 津田智(岐阜大学) |
| 2) 安比高原(岩手県) | 渋谷晃太郎(岩手県立大学) |
| 3) 土呂部(栃木県) | 飯村孝文(日光茅ボッチの会) |
| 4) 上ノ原(群馬県) | 北山郁人(森林塾青水) |
| 5) 菅生沼(茨城県) | 小幡和男(茨城県自然博物館) |
| 6) 大麻生公園(埼玉県) | 高橋衛(埼玉県生態系保護協会) |
| 7) 軽井沢三ツ石(長野県) | 今城治子(軽井沢サクラソウ会議) |
| 8) 牧の入り茅場(長野県) | 井田秀行(信州大学) |
| 9) 麻機遊水地(静岡県) | 小野厚(麻機遊水地保全活用推進協議会) |
| 10) 北総(千葉県) | 矢野眞理(谷田武西の原っぱと森の会) |

それぞれ10分程度の話題提供をおこなっていただきます

広 告

日本生態学会編「自然再生ハンドブック」地人書館 280pp. 4000円

草原の再生事例も掲載されています。お手元に一冊いかがですか？（売れ残っているらしい）